

群馬県漬物工業協同組合（富澤健一理事長）は5、6日の2日間、群馬県前橋市JAビル南側大駐車場で開催された「収穫感謝祭2019」（主催＝群馬県、JAグループ群馬ほか）に毎年恒例となっているブースを出店した。青年部が中

どなり漬物のPRや即売を行った。組合ブースでは各種梅製品など群馬県を代表する特産品をはじめ、キムチや浅漬はもちろんドレッシング、甘酒、ゼリーなどを組合員の幅広い製品が並んだ。このイベントでは毎年P



中曾根康隆衆議院議員も訪れ、各組合員と交流し、親睦を深めた。

同組合の設楽英世常務理事は「こういったイベントを通してより多くの人に群馬県の漬物のこと、その美味しさを知ってもらえば」と話した。

## 「収穫感謝祭2019」に出店

### 多彩な商品で魅力をPR



ブースを訪れた中曾根議員と組合員



人気のアンケートに回答する来場者

他にも武井漬物製造は「いか尾布白菜」、「浅漬だいこん」など、したらば各

R活動の一環として「漬物に関するアンケート調査」を2日間で来場者300人を対象に行い、回答者には漬物を無償配布している。アンケートを開始すると大変な人気で人だかりがあり、老若男女問わず多くの人が回答し、用意された数種類の漬物から好みの一品を選んでいた。

またブースには中曾根康隆衆議院議員も訪れ、各組合員と交流し、親睦を深めた。

同組合の設楽英世常務理事は「こういったイベントを通じてより多くの人に群馬県の漬物のこと、その美

味しさを知ってもらえば」と話した。